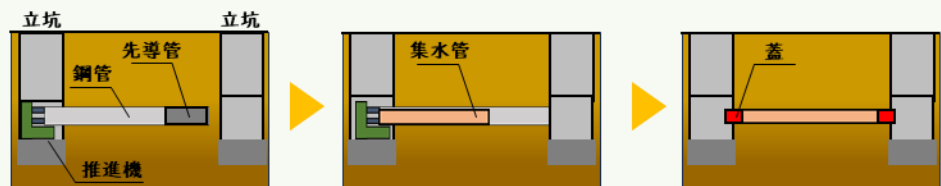


『液状化対策実証実験を進めています』

地下水位低下工法による液状化対策の効果や周辺への影響を確認するために、栗崎小学校の敷地内で実証実験を行っています。現在、地下水位を下げるための集水管（直径：約30cm）を推進工法により、設置しています。

【集水管設置イメージ図】



立坑内に推進機を設置し
鋼管を押し込む
(写真①、②)

反対側の立坑に到達後
鋼管内に集水管を設置
(写真③、④)

集水管設置後、
鋼管を引き抜き、蓋を設置
(写真⑤)

① 先導管
先端で土を掘削する機械



③ 鋼管が
反対側へ到達



⑤ 集水管設置後、
蓋を設置



② 推進状況
先導管の後ろに鋼管をつなぎ 押し込んでいく



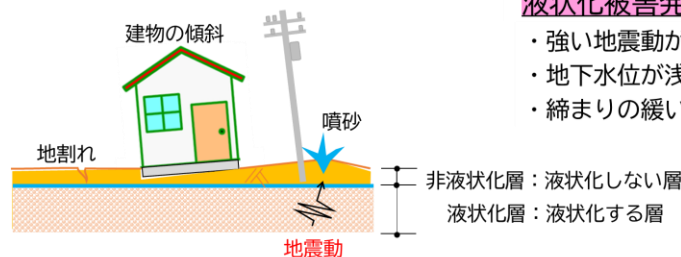
④ 集水管設置状況
鋼管内に集水管を設置



『液状化被害と被害抑制対策』

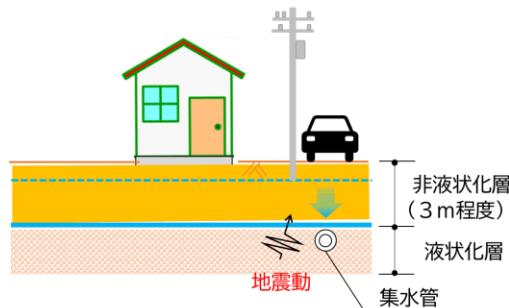
液状化被害発生の一要素

- ・強い地震動が発生（震度5弱程度）
- ・地下水位が浅い（非液状層が薄い）
- ・締まりの緩い砂地盤



液状化被害抑制対策

地表面から3m程度までを
非液状化層（液状化しない層）に
することで液状化被害を抑制できます。



※今回、栗崎地区では、道路の下に
集水管を設置し、地下水位を下げる
ことで非液状化層を確保します。

集水管



直径約30cm

New!!

栗崎未来共創通信を金沢市ホームページに掲載しました

今回で栗崎未来共創通信が5回目の発行になりました。
これまでのNo. 1～4の栗崎未来共創通信については、
金沢市のホームページでご覧いただけます。
今後も、随時更新を予定しております。

右記二次元コードから
金沢市公式HPをご覧ください。

栗崎未来共創通信

